

学校教育目標	生徒一人ひとりが明るく、元気のある学校 「あいさつ」・「感謝」・「思いやり」そして「挑戦(チャレンジ)」 (知) 学習の基礎を定着させ、自ら学ぶ力を育てます。 (徳) ルールやけじめを大切にす美しい心を育てます。 (体) 生き生きとした毎日を送る健やかな体を育てます。 (公) 一人ひとりの違いを認め、思いやりの心をもつ生徒を育てます。 (開) 地域とのつながりを大切に、共に学ぶ姿勢を育てます。			
	創立 43 周年	学校長 高部 振司	副校長 藤井 竜馬	3 学期制 一般学級: 21 個別支援学級: 4
学校概要	児童生徒数: 823 人 主な関係校: 川和東小、川和小、都田西小			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
課題発見・課題解決力 多様性を認め合う心 思いやりの心 挑戦心	川和中学校 川和小学校 川和東小学校	人々と考えや思いを共有するコミュニケーション能力 かかわり合い わかり合い わかち合い ～自分の中で、人の中で、まちの中で、輝く子～ ・自ら学び、よく考え、よりよく解決する子 ・自分や友達のをさを認め、思いやりの心をもって行動できる子 ・まちとつながり合いながら、まちとともに生きる子

中期取組目標	◎誰にとっても、安全で安心して生活できる学校づくりへの取り組み ○多様な社会を生きていく上で必要な柔軟な対応力と他者を尊重する心を育てる ・保護者を子どもの健全な成長のための大切なパートナーとし、学校・保護者・地域・関係諸機関との連携と信頼関係の構築を図る ・生徒の自己肯定感を醸成するため、居場所づくりや活躍の場(授業、学校行事、地域行事、部活動等)の充実 ○生徒の主体性を育成するための日常的な取り組みの工夫 ・さまざまな場面で「答えをいそがない」「いそがせない」指導に取り組む ・指示待ちの教職員・生徒を創るのではなく「信じて」「任せて」「待つ」とを大切にする
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①校内授業研や小中合同授業研を通し、各教科において生徒が主体的に考え意欲的に学び続ける力を育む。 ②学期末に生徒による授業評価を実施し、集計結果を基にしながら授業改善をおこなう。 ③ICT機器の活用を進め、生徒の興味・関心を高め、生徒のアウトプットを大切に授業に取り組む。
担当	学習指導部	
徳	人権教育	①道徳の時間の充実を図り、全ての教育活動を通して、子どもの人格形成の基盤となる資質を育成する。 ②一人ひとりを大切に、多様性を認め合える人権尊重の精神を基盤とする学校づくりを実践する。 ③人とのつながりを通して自尊感情を高め、他者の思いに寄り添う心情を育むよう取り組む。
担当	道徳・人権教育担当	
体	健康教育・食育	①運動やスポーツに対する関心を高め、生涯にわたって運動やスポーツを「する、みる、支える、知る」の多様なかかわり方で楽しむ態度を育む。 ②食生活の大切さを理解し、望ましい生活習慣を身につけ心身の健康を保持増進しようとする態度を育む。
担当	保健安全指導部、保体科	
公開	ESDの推進	①自分の内面と向き合い、自他の違いを受け止めながら、価値観や背景が異なる相手ともコミュニケーションを図ることを大切し、共に生きていく力を育む。 ②持続可能な社会の実現に向けてグローバルな視野を持つために身近なところから行動する態度を養う。
担当	特活指導部	
いじめへの対応		①教育活動全般を通し、多様性を認め合い、自分自身を表現できるような関係作りと、誰もが安心して豊かに生活できる学校づくりを進めることで、いじめを許さない風土づくりに取り組む。 ②子どもの人間関係や小さい変化を見逃さず、日常より教職員間の情報共有を大切にしながら協働に努める。
担当	生活指導・いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①チームで働くことができる風通しの良い組織の育成を図るため、「話しやすく」「助け合い」「挑戦できる」「新奇さを歓迎する」ような土壌を育む。 ②働き方改革の視点から、ワークライフバランスを大切に、持続可能な働き方や部活動の運営に努める。
担当	管理職・教務・全教職員	
特別支援教育		①特別支援教室実践推進校としての実践から、特別な配慮や支援が必要な生徒や保護者との信頼関係の構築を図り、互いに合意形成を図りながら、学校の中に安心できる居場所づくりに取り組む。 ②関係機関とさらなる連携を深め、特別支援コーディネーターを中心とした研修会の実践と特別支援教育の理解に取り組む。
担当	特別支援教育委員会	
地域連携		①学校だより、学校HP、PTA活動等、それぞれの場面を通して、学校の現状を積極的に発信し、学校教育への積極的な参画を図る。 ②地域コーディネーターとの連携協働を充実させ、学習支援事業の推進や教育活動への参画を目指す。
担当	渉外部	
児童生徒指導		①日頃からの声掛けの実践など、生徒一人ひとりに寄り添ったていねいで親身な指導に組織的に取り組む。 ②生徒指導研修会の実践から、Y-Pアセスメントの活用を図り、支援検討したことを指導や対応に活かす。
担当	生徒指導部	
a15		b10
担当		